



「供養」について

なるからです。仏教ではこれを

「逆縁」と言います。順縁(順当

お盆

浄

浄泉寺住職 望月廣三

今年もお盆がきましたが、お盆ぐさめる日だと思われているでいます。しょう。しかし私たち浄土真宗のしょう。しかし私たち浄土真宗のりに思われます。そう言うと何とうに思われます。そう言うと何とうに思われます。そう言うと何とるというのはこの身の幸せんが、までは何も必要がないように思われます。そう言うと何とも必要がないように思われます。そう言うと何とを仏様や先祖に感謝することでを仏様や先祖に感謝することでしょう。

励まし奮起させてくれる機縁にや立てる人もいるでしょうが、そを立てる人もいるでしょうが、それは間違っています。なぜなら、が次から次へと起きるのに、どうがなけいことや苦しいこと

信じられるからです。起をはかり奮起させるものだと、です。むしろ逆縁こそ、人生の再な仏縁)だけが仏の縁ではないの

慰霊や鎮魂は本来のものからいえば、生きる力にならない、一時凌ぎというか、ひとときの安寧時凌ぎというか、ひとときの安寧時凌ぎというが、ひとときの安寧

浄泉寺からのお知らせ

秋彼岸のお参り●

↑ますので、ぜひお越しください。
★書にてお知らせします。
業書にてお知らせします。
業書にてお知らせします。

て他人を排斥する理由にするので

は恐ろしいですが、その恐れをもっ

日程等の問合せは浄泉寺まで。

うか。

(浄泉寺若坊守・釋尼彌名)

めなおすべきなのではないでしょなく、今一度自分の「生死」を見つ

- 若坊守のひとりごと - 若坊守のひとりごと - 若坊守のひとりごと - 若坊守のひとりごと - 若坊守のひとりごと - お坊からなくさせているようです。かもワクチンを打った人が職場で差別にあうなど、あたい人が職場で差別にあうなど、あたい人が職場で差別にあうなど、あたい人が職場で差別にある、排他的なあるかのような風潮にも疑問を感がもワクチンを打った人が正義であるかのような風潮にも疑問を感がもワクチンを打った人が正義であるかのような風潮にも疑問を感があるかのような風潮にも疑問を感があるかのような風潮にも疑問を感があるかのような風潮にも疑問を感があるがあると、今度はワクチンを打たない人が職場で差別にある「恐れ」です。生死が脅かされる恐れが、あたからなくさせているようです。

その原因は私達の根底にある「恐れ」です。生死が脅かされる恐れが、れ」です。生死が脅かされる恐れが、れ」です。生死が脅かされる恐れが、れ」です。生死が脅かされる恐れが、れ」です。生死が脅かされる恐れが、れ」です。生死が脅かされる恐れが、れ」です。生死が脅かされる恐れが、れ」です。生死が脅かされる恐れが、れ」です。生死が脅かされる恐れが、れ」です。生死が脅かされる恐いは私達の根底にある「恐れ」です。

お内仏(仏壇)に座る ②



浄泉寺報恩講の仏花 ※報恩講の仏花は一対備える五具足[ごぐそく]。 普段は本尊に向かって左側のみお備えします。

~ この身の事実を教える仏花~

仏様の前に備えるお仏花は、どちらを向いているか、考えてみたことはありますか?

「仏様にお花を供える」のだから仏様の方を向いているでしょうか?いえいえ、お花は仏様にお参りする私の方に向かって備わっています。これは、皆さんのお宅のお内仏(仏壇)であっても、お墓であっても同じです。実は、このことにも大切な意味が込められているのです。

本来的に、仏花には生花を用います。生花ですから、水をあげなければ枯れてしまいます。もっといえば、水をあげていてもいずれは枯れていっ

てしまいます。このことは、「あなたの命もこの花と同じく、どんな人であっても、いつか必ず死 にゆくその身を今生きているんですよ」という、仏様からの呼びかけを表しています。

浄土真宗では、「他力向」といって、人間の都合では良いことも悪いことも、この世の中のあらゆる出来事が、人間の「良い」「悪い」といった分別を超えて、私のこの身の事実を知らせる仏様からの働きかけだと教えられます。本号の冒頭に掲げた「亡き人を案ずる私が 亡き人から案ぜられている」という言葉もそのことを言い表しているのです。

お盆にお内仏(仏壇)の仏様に手を合わせる、お墓や納骨堂にお花を備えてお参りする、そのことは、私に先だってまるごと100%の命を生き切り、命を終えていった先達の声を聞くというこ

令和3年(2021年)年忌表

ご法事(年息法要)は、亡き人をご縁に、仏さまの教えを、今生きる私たちが聞かせていただく大切な機会です。浄泉寺本堂でご法事を勤めることもできます。

一周忌	令和 2年(2020年)亡
三回忌	平成 31 令和元年(2019年)亡
七回忌	平成 27 年(2015 年)亡
十三回忌	平成 21 年(2009 年)亡
十七回忌	平成 17 年(2005 年)亡
二十五回忌	平成 9年(1997年)亡
三十三回忌	昭和 64 平成元年(1989年)亡
五十回忌	昭和 47 年(1972 年)亡

とに他なりません。「お前それでええんか?」、 仏様となった亡き人からのそんな呼び声が聞 こえてくるようです。

(浄泉寺若院・釋亜世)



お内仏 (仏壇) の仏花 ※普段は三具足[みつぐそく]のお荘厳として、こ のように本尊に向かって左側のみお備えします。

<発行元・問い合わせ>



真宗大谷派 楠林山 净 泉 寺

〒656-0026 洲本市栄町4-3-43

ホームページ http://jyosenji.asei.info

電話 0799-22-4798